

# 学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	国 語	実施学年	1 年	週時数	4 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

## 1 学習の目標等

学習の目標	(1) 国語に対する関心を深め、進んで表現し、理解できる。 (2) 自分の考えを深め、目的や場所に応じ筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりできる。 (3) 自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書ける。 (4) 目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、理解できる。 (5) 表現と理解に役立つための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書く力をつける。
使用教科書 副教材等	伝え合う言葉1 (教育出版)、ワーク、活用資料集 中学生の文法 (とうほう) 、マルカン (漢字練習) 国語辞典

## 2 学習計画及び評価方法等<6月1日現在>

学期	月	学習内容	学習のねらい	備 考	評価
第 1 学 期	6	長期休業中の課題の復習 (詩) 「ふしぎ」 (展開・描写) 「音を追いかけて」 (展開・表現) 「笑顔という魔法」 (表現) 「体験したことを文章にする」 (読書) 「ベンチ」 (詩) 「河童と蛙」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩の技法について知る。</li> <li>・ 登場人物の心情・行動の変化を読み取る。</li> <li>・ 「問い」と「答え」の関係について考える。</li> <li>・ 条件に合わせた文章を書く。</li> <li>・ 読書を通して人権や平和について考える。</li> <li>・ 表現に注目して、詩の情景をとらえる。</li> </ul>		※单元ごとの自己評価シート 評価テスト プリント
	7	(文法) 「言葉の単位」  (伝統文化) 「百年後、千年後の友人であるあなたへ」 (構成と表現) 「オツベルと象」  ・ 読書感想文 ・ 読書案内 ・ 原稿用紙の使い方と推敲 ・ 図書館で本を探そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章、段落、文、文節、単語について理解する。</li> <li>・ 古典作品について知る。</li> <li>・ 川柳をつくる。</li> <li>・ オツベルと白象の人物像について考える。</li> <li>・ 擬声語や擬音語を理解する。</li> <li>・ 原稿用紙の書き方や、本の探し方、感想文の基本的な書き方について理解する。</li> </ul>	文法用 テキスト	定期テスト ノート、プリント  川柳 (創作) ノート、プリント  ノート、プリント  作文
	9	(伝統文化) 「物語の始まり」 ・ 十二支 ・ 月の呼び方 ・ 慣用句・ことわざ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冒頭の内容を理解する。</li> <li>・ 内容の面白さについて話し合いを深める。</li> <li>・ 様々な言葉を知り、表現や理解を豊かにする。</li> </ul>		ノート、プリント  評価テスト
2	10	(伝統文化) 「中国の名言」 (文法) 「文の成分」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓読の仕方を知り、音読して漢文独特のリズムを味わう。</li> <li>・ 文節と文節の相互の関係について理解する。</li> </ul>	文法用 テキスト	定期テスト  評価テスト
学	11	(読み比べ) 「電子レンジの発想」 「言葉の揺れを考える」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な文章表現を学ぶ。</li> <li>・ 段落と段落をつないでいる言葉に注意をして、文章の構成や展</li> </ul>		ノート、プリント

期	12	「花の形に秘められた不思議」 (メディアと表現) 「写真と言葉が生み出す世界」 (書く)・毛筆 (多様な表現) 「四季の詩」	開を整理する。 ・写真と言葉を組み合わせることの効果について考える。 ・書初めの練習をする。 ・表現にこめられたものの見方、考え方を読み取る。	外部講師	定期テスト
第	1	(詩歌) ・小倉百人一首	・百人一首の暗唱をする。		百人一首テスト
3	2	(ものの見方) 「少年の日の思い出」 (文法) 「単語のいろいろ」	・情景や心情描写に目を向け、登場人物の心情を読み取る。 ・自立語や付属語、活用の有無など、単語について理解する。	文法用テキスト	プリント 定期テスト
学	3	(ものの見方) 「言葉がつなぐ世界遺産」 (読む) 「蜘蛛の糸」	・筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広くしていく。 ・近代小説や物語を探し、作品の紹介をする。		文法テスト レポート
期		学習の中に、適宜織り込む教材 「聞く」「書く」「話す」の教材。第2部の教材。他社の教科書の教材など			

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
関心・意欲・態度	授業への積極的な取り組みを、授業用ノート、ワーク、提出物。忘れ物の有無などから判断する。授業中の発言の量も参考にする。	・ノート、ワーク ・授業中の発言 ・忘れ物調べ
話す・聞く	筋道を立てて話したり、的確に聞き取っているかを、聞き取りテストや「話す」授業、授業中の発言の内容で判断する。 ※今年度話す聞く活動については、十分な配慮の上実施していきます。	☆スピーチテスト ☆聞き取りテスト ☆朗読テスト
書く	自分の考えを深め、適切に文章を書いているかを作文や「書く」授業によって判断する。テストの結果でも判断する。	・読書感想文 ☆短作文(授業時) ・定期テスト
読む	さまざまな文章を的確に読み取り、理解しているかを、主に定期テストから判断する。	・定期テスト ☆単元テスト ☆小テスト
言語に関する知識	漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断する。漢字テスト、言語に関する小テストもここに含む。	☆漢字テスト ☆文法テスト ☆語に関するテスト ・定期テスト

☆印の項目は、授業に欠席した場合評価に含めることが出来ない場合があります。

#### (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=3点、B=2点、C=1点、評定不能=0点として5つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	15点
4	12～14点
3	9～11点
2	6～8点
1	5点